



## 進路指導室から

保善生の皆さん、こんにちは。特に新入生の皆さん、保善高等学校にご入学おめでとうございます。しかしコロナ禍の中で、保善生の諸君も不安な思いで学校生活を過ごしているのではないのでしょうか。

今年3月の卒業生諸君はこのコロナ禍で色々な制限や制約のある中、自分の目標に向けて地道に努力を重ねた結果、89.3%の諸君が、しっかりと進路を決定してきました。3年生の諸君も、先輩方に負けじと自分の夢を叶えられるように頑張ってください。まだまだ先の見えない状況が続いていますが、保善生の皆さん、しっかりと前を見据え、今やるべきことに全力を尽くしていきましょう。

学習・進学指導部部長 三河 一雄



## 今年度の学習・進学指導部

進路指導室は2号館1階にあります。2, 3年生は1度は訪れたことがあるかもしれませんが、1年生は入学以来まだ入ったことがないかもしれません。どうぞ気軽に扉を開けてみてください。進路関係の情報があるだけでなく、調べ物をするためのパソコンもありますし、隣には自習室もあります（自習室を使いたいときに鍵がかかっているときは、進路指導室の先生に声をかけてください）。赤本や大学のパンフレットも多数用意されています（赤本は貸し出しもしていますが、進路指導室でコピーをとることはできません）。またこの時期は3年生が進路関係の相談で来室されますが、1, 2年生の諸君も進路関係で相談したいことがある場合は、遠慮なく進路指導室に常駐している先生に声をかけてみてください。



### 今年度の学習・進学指導部担当教員



左から、三河一雄\*（数学科）、小関吉直\*（英語科）、吉江実\*（英語科）、貴家悠太（理科）、中里謙佑（地歴科）、田中一夫\*（英語科）、吉田忠裕（国語科）、野澤直紀（国語科） \*印は進路指導室常駐教員

## 学際系学部ってなに？

中央学院大学現代教養学部学部長・佐藤教授インタビュー

社会学部、教養学部、総合政策学部などが分類される「学際系学部」というものがあります。しかし実際のところ「何をやるの?」「何が身につくの?」と言われる学際系学部。今回は中央学院大学の現代教養学部の学部長である佐藤教授にオンラインでインタビューを試み、「学際系学部」とはどのようなところなのかを探ってみたいと思います。

——学際系学部にはいろいろな名前がありますが、敢えてオーソドックスな「現代教養学部」という名前の学部にしたのはどのような理由からでしょうか。また、目指す方向性などについてうかがえたらと思います。



中央学院大学現代教養学部・佐藤寛教授 専門は環境学

佐藤：専門性に特化せず、教養をもった学生を育てたいというのがあります。世の中でいろいろなことが起こっている時に、それに付随する知識を学生が何も知らないのでは困ると考えています。「現代教養学部での専門とはなんですか」と言われると明確に答えるのはなかなか難しいわけですが、「自分の専門は自分で決める」という考え方があります。「Specialist」とすると同時に、「Generalist」として世の中に出てほしいというのがあります。

——やりたいことが見つからないから学際系に行きたいという生徒がよくいますが、逆に私はやりたいことがありすぎて一つの枠に収まらないから学際系の学部に行くのが正しいと思っているのですが、そのあたりはどうでしょうか。

佐藤：そういう学生はいますね。一つの学問を究めると、そこから必ず派生するものがありますよね。例えば「経済を学んだら、そこから今度はイギリスに興味が出てきた」というように、必ず枝分かれしていくものです。本校には「現代教養入門」という授業がありますが、いろんな教員がやってきてオムニバスの授業を展開しています。例えば自治体の長や、国連大使がやってきてそれぞれのテーマをもとに講義をするんです。また「18歳成人の問題」や「SDGs」についても取り扱う予定です。いろいろな教員から学びながら基礎的な教養学を学びます。

——「リベラルアーツ（教養学）」の第一歩を「現代教養学」で学ぶ、ということでしょうかね。

佐藤：そうです。様々な教員が共通のコンセプトを元に、教養学の方向性を学生が体得していくということになりますね。1, 2年次に教養学の基礎をしっかりと学び、リテラシーなどの知識も身につけてもらうといった工夫もしています。

——自分のほしい情報だけを必要とするという傾向があると思いますが、実際にはそうではないところから得られる情報や知識がすごく重要だと思うのですが……。

佐藤：まったくその通りだと思いますね。全員に新聞を読んでもらいますが、新聞を読むことを通して社会情勢、経済、文化など全部に目を通さないと授業に臨めなくなるわけです。そうすることで知識の幅を広げていくことになります。1年生の時は基礎を学ばせて、まずは枠を作ってしまう、それ以後は卒業論文の作成を前提として自分の興味のある先生を選んで学ぶようになるわけです。

——教養学というのは非常に多岐にわたると思うんですが、学生のニーズにどのように応えておられるのでしょうか。

佐藤：本学は、担任制をとっています。また学内の教員（法学部、商学部）にも指導受けることもできるようにしています。可能なものは他学部の授業であっても受けられるようにしています。

——現代教養学部という形にしているがために、いろいろな先生からいろいろな指導を受けられるように



なっているわけですね。

佐藤：そうだと思います。社会情勢や経済といったものだけでなく、宗教学や心理学、文学といったものまで学べるようになってきました。他学部の学生でも、入学してから入学前のイメージと違っていることがわかって、現代教養学部で転科してきたという学生もいるくらいですね。



——学際系学部ってなにをするんだと問われることが多いんですが、大学によってコンセプトは違えども、教養学というものは人間教育というものにつながっているということでしょうかね。

佐藤：優秀な大学を出てはいても、人間的に基本的な部分ができない人が結構います。そういう状況で経済だけでもない、法律だけでもない、文学だけでもないとする教員が集まって現代教養学部を作ったんです。その際に名称に「国際」とつけなかったのは、「現代」とした方が広いからなんです。人間教育がベースにあって、社会で生きられる力、市民力といった部分をベースに（指導を）やろうというコンセプトがあります。ですので、1年次には全員が同じ科目（「現代教養学入門」）を学び、みんなで同じ指導を受けているからこそ、2年次以降に自分の専門を見つけていくわけですよ。結果として卒業の進路はバラエティーに富んでいます。

——私は自分が勉強したいものを好きなだけやるだけではちょっと心許ないような気がしていますが、現代教養学部では学問の「型」をしっかりと教育している、というように考えてもよろしいでしょうか。



佐藤：学生は成長しているからこそ自分の進むべき道を自分の意志で選ぶということが大事だと思うんです。だいたい3年生になると学生たちは自分の道がほぼ見えてきます。1年生の時は夢みたいなのを言っていますが、だんだんいろいろな人・授業の影響を受けるうちに、変化が生じるわけですね。そして自分でまた新たに自分の「型」を作ってくるわけです。新たな「型」ができることで「階段」を一つ上がるわけですね。そうすると見える景色が変わってきて自信につながります。

——教養学部という枠の中で、新しいバイタリティーが学生の中に出てきているような感じをお話から伺えるのですが、どうでしょうか。

佐藤：やはり目指すものがはっきりしてきて「自信がつく」ということでしょうかね。学びを通して一つ一つ自信をつけていくことが可能だということです。本学でも学生のためにいろいろ新しいことを打ち出していっているところです。新しいこととしては、「キャリアデザイン」という授業で、そこに自治体の長や企業関係者が登場して、社会の実態を次々に講義されていくようになるわけです。特に3年生の学生は本当に真剣です。

——時期学際系学部がたくさん設立されました。これもまた時代のニーズだったんじゃないかと思ってるんですが、いかがでしょうか。

佐藤：「現代教養って何なの？」って言われることが多いんですが、時代にマッチした学部作りで、データサイエンス的な視点やキャリアデザイン的な視点も導入して、少しずつ変えていこうと思っています。そういうことができるのも、学際系学部の良さだと思いますね。授業の形態についても、いろいろな工夫をしようと考えています。いろいろな形で学生に刺激を与えていこうと考えています。その中で学生には自分の「型」を作ってもらいたいと思っています。何も提供しなければ学生は「型」を作りようがないですから。いろいろなものを提供して、学生が自分で「型」を作ってもらい、その上で一つ一つ階段を上るようにして自信をつけてほしいわけですね。



佐藤教授のフィールドワークの様子

——お忙しいところ、佐藤先生ありがとうございました。

実際に入学してみて入学前のイメージと違うということとはよくあることです。しかし学際系学部だと新しいことも含めてさまざまなことが学べるために、学びの「型」を作りやすく、その結果豊かな知識が得られる可能性が広がっているのではないのでしょうか。学際系学部に興味がある人は是非参考してみてください。

（聞き手：学進部 小関）

## 令和4年度 大学進学状況

今年度の大学入試では、学校全体として85%の大学進学率を達成し、かつ上位大学への合格も目立ちました。中でも東京大学への合格を筆頭に、GMARCHへの合格者数が飛躍的に伸びたことは特筆すべきことでしょうか。地道な努力を続け、諦めずに挑戦し続けるからこそ為しえる大学合格。先輩たちの実績を励みに、在校生諸君の健闘・奮闘に期待したいと思います。なお、下記大学合格者数は、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜すべての入試形態での合格者数です。

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京	1	成城	3	淑徳	1	東京国際	4
筑波	1	明治学院	5	城西	6	東京農業	5
東京外国語	1	國學院	11	城西国際	2	東京薬科	3
鳥取	1	獨協	4	湘南工科	1	東邦	1
東京都立	1	日本	31	駿河台	5	二松学舎	2
新潟県立	1	東洋	18	大正	4	日本医療科学	1
長野県立	1	駒澤	9	大東文化	3	日本社会事業	1
島根県立	1	専修	10	高千穂	4	日本体育	2
早稲田	7	芝浦工業	5	拓殖	12	白鷗	1
慶應義塾	1	東京都市	4	多摩	3	文京学院	1
東京理科	7	東京電機	3	玉川	1	平成国際	1
学習院	6	工学院	6	千葉工業	1	北海学園	1
明治	15	亜細亜	8	千葉商科	1	武蔵野	3
青山学院	4	桜美林	1	中央学院	4	明海	2
立教	12	神奈川	4	帝京	17	明治薬科	2
中央	15	神田外語	1	帝京科学	2	明星	1
法政	9	京都芸術	1	帝京平成	11	目白	5
立命館	1	杏林	1	東海	7	ものづくり	1
関西	1	近畿	2	東京経済	5	山梨学院	1
関西学院	4	国士館	12	東京工科	3	立正	6
成蹊	2	産業能率	4	東京工芸	3	合計	376